

令和6年度静岡大学人文社会科学部（夜間主コース）
学校推薦型選抜試験問題

経済学科 [小論文] (SUK2)

令和6年2月10日(土)
10時00分～11時00分

注意事項

1. 解答始めの合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
2. 解答始めの合図の後、下段に記載の枚数のとおり問題用紙・解答用紙・下書用紙があるか確認してください。
3. 解答を始める前に、解答用紙の所定欄に受験番号を記入してください。解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 試験終了後も監督者が許可するまで退室しないでください。
5. 問題用紙及び下書用紙は持ち帰ってください。解答用紙は持ち帰ってはいけません。

問題用紙（この表紙を除く）・・・4枚
解答用紙・・・2枚
下書用紙・・・2枚

『答案作成の注意事項』

1. 書き出しは、一マスあけない。
2. 改行したら、一マスあける。
3. 読点には「、」を使用し、句点には「。」を使用し、それぞれ一マスとする。ただし、行の末尾については文字と同じマスに含める。
4. 小さな「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」は一マスで使う。
5. 数字と英字の書き方は、下の例に従い、二文字で一マスを使う。
数字例：123であれば、「12」と「3」で二マス使用。
英字例：abcであれば、「ab」と「c」で二マス使用。

次の朝日新聞の記事(図を含む)を読み、問1、問2に答えなさい。

著作権の関係上、公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

著作権の関係上，公表しません。

出典：五十嵐大介著「AIに仕事奪われる 全米脚本家組合、スト」『朝日新聞』2023年5月27日朝刊，1-2面。出題にあたっては，縦書きを横書きとし，原文にあった小見出しなど一部を省略した。また，常用漢字以外にはふりがなをつけた。

(注1) AI(人工知能)…機械が学習することを通じて人間の知性や知的活動を模倣し、認識、判断、問題解決できる技術。

(注2) ブレインストーミング…アイデアを自由に出し合いながら解決策を模索し検討する集団的なアイデアの発想に取り組む手法(アプローチ)。

問1 下線部でグッドウィン氏が脚本家側の主張の一部を「間違っている」と考える理由を200字以内で述べなさい。(配点30%)

問2 経済社会にAIが導入されることに関するあなたの考えを500字以内で述べなさい。(配点70%)

採点・評価基準（具体的基準）

教科・科目名	小論文
実施学部・学科等	人文社会科学部経済学科（夜間主コース）
出題のねらい	<p>問1 出題文の内容を理解し，論理的にまとめてコンパクトに要約する力を有しているか評価するための問題である。</p> <p>問2 出題文の内容を的確に理解する能力，および出題文の内容に対する自己の考えを論理的に表現しまとめることができているかどうか。あわせて，論理的思考及び思考の結果を整理する力を有しているかどうかを評価する設問である。</p>
採点基準	<p>問1 配点 30%</p> <p>19世紀にイギリスで起きたラッドライト運動の内容とその限界を指摘しながら，AI は私たちの考え方も変える可能性のある技術であることを指摘できているかどうか。</p> <p>問2 配点 70%</p> <p>① 出題文と図の内容を正しく理解しているか。</p> <p>② その上で自分の考えを論理的に展開し，まとめているか。</p>